

ジュニア・リーダースクラブ全国表彰

11月27日（土）、第44回青森県子ども会指導者・育成研究大会がホテルグランメール山海荘（鯉ヶ沢町）で開催され、その席上で、青森県子ども会育成連合会（鎌田正勝会長）から、当町のジュニアリーダースクラブ「HIZURU」へ全国子ども会連合会表彰が伝達されました。

「HIZURU」のメンバーは現在35人で、町の行事や子ども会活動などに参加し、企画や運営に携わり子どもたちのリーダーとして活躍しています。結成から13年間の活動が評価され今回の受賞につながりました。会長の一戸匠君は「小さな町なのに全国の中で注目されて嬉しい。これからの活動にも力を入れてがんばりたい」と喜びを語ってくれました。



県子ども会鎌田会長から表彰状が



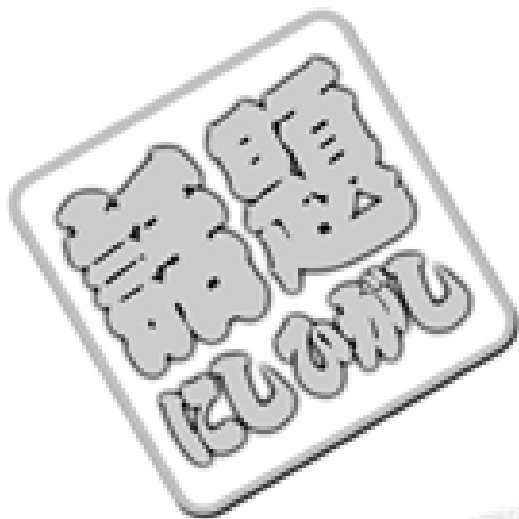
△全国表彰で喜ぶ会長の一戸匠君と副会長の山田裕源君



12/5くまみふれあいまつり

12/5梅沢小学校門松づくり

12/13冬の交通安全運動
早朝街頭啓発



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせ
ください。（☎22-2111 内線263）

運動を楽しく身につけて健康に！

11月29日（月）、国際交流会館で「楽しく学んで、もっと元気になる！」の健康講座が開催されました。

講座は2部に分かれ、1部では、町立中央病院外科・総合診療科小野正人先生が「寝たきり予防の決定版」と題し講演会を行いました。先生が現在まで取り組んできた中で得た寝たきり予防の秘訣を、おなじみの関西弁トークで分かりやすく説明してくださいました。2部では、健康運動士葛原仁美先生が「楽しく身につく運動のコツ」と題して、普段の生活の中でどうしたら自然に運動が身に付くのかを、実際に体を動かし、笑いを交えながら丁寧に指導していました。



笑顔が素敵な葛原先生



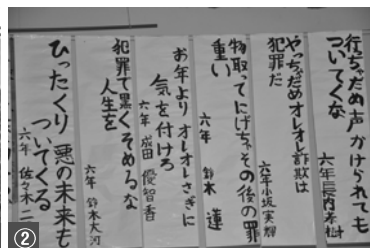
△先生の指導の下、楽しく運動に取り組む参加者の皆さん

地域の皆さんと一緒にもちつき

11月20日（土）、梅沢小学校（芦田由紀子校長）で、梅沢地区防犯協会・梅沢小学校PTA主催の「防犯もちつき大会」が行われ、今年無事に学校田のお米が収穫できた喜びを地域の皆さんと一緒に分かち合いました。

今年のもちつき大会には、町国際交流員のエマ・セイヤーズさんも初参加して大会を盛り上げていました。

もちつきが終わると、防犯協会婦人部やPTAの方々が調理してくれたお雑煮、お汁粉、きな粉もちを全員で味わいました。また、招待した施設のお年寄りの皆さんにも、児童たちが自らおもちを運び、お世話するなど、楽しく心温まる大会になりました。



①高学年男子は大人並みに力強い ②会場内に掲示された防犯の標語
③もちつきが終わってエマさんと ④招待したお年寄りに雑煮を運ぶ児童



△それぞれの家からリンゴを持参する児童たち

自分の家からリンゴを持ち寄る

11月26日（金）、水元中央小学校（野呂良悦校長）で、児童たちが各家庭からリンゴを持ち寄って学校給食に提供する「リンゴ一籠（ひとかご）運動」が行われました。

秋から春にかけて給食に毎食リンゴを出す取り組みを行っている学校給食共同調理所（給食センター）では、毎年町内の生産者や各学校の保護者に呼び掛けて、たくさんのリンゴを提供していただいております。今回の運動もその一環で行われ、今年で5年目になりました。

朝、リンゴを手かごいっぱい詰めて学校へ登校すると、玄関前にはたくさんのテレビ局や新聞社の方がいてびっくり。少し照れくさそうにあいさつをしたあと、リンゴ箱に丁寧に詰め替えていました。今回集まったリンゴは11箱（約220^{kg}）にもなりました。

地元の食材を使って給食交流会

11月12日（金）、水元中央小学校（野呂良悦校長）3、4年生合同で、鶴田町学校給食共同調理所（給食センター）が主催する「ふるさと産品の日」給食交流会が開催されました。

はじめに、給食センター栄養教諭 木村幸子さんから、給食では毎日どのくらいの量の食材が使われているのか、調理員さんは毎日どんな作業をしているのか、食材はどこから来ているのかなどのお話がありました。

その後、学校給食応援隊やみどりの会の皆さん、給食センターの調理員さんたちと一緒に、地元の食材がいっぱいの給食を味わいながら交流を深めていました。



△実際に給食センターで使われている器具を使って説明する木村栄養士



△給食応援隊の方に野菜のことについて質問する児童たち